

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公表番号】特表2007-523369(P2007-523369A)

【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-552304(P2006-552304)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/01 (2006.01)

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

G 0 2 B 27/09 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/02 A

B 6 0 K 35/00 A

G 0 2 B 27/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一次元で電磁エネルギーのビームを掃引することによって像を生成するように動作可能なスキャナアセンブリと、

視野次元に対して実質的に垂直な領域を有する断面において実質的に均一な強度プロファイルの有する所定の視空間に前記像を向けるように動作可能な投影アセンブリと、

を有するヘッドアップ表示装置。

【請求項 2】

約 8 ミリメートル以下の第 1 の測定開口を横切る前記断面におけるプロファイルの最も明るい領域が、約 8 ミリメートル以下の第 2 の測定開口を横切る断面におけるプロファイルの最も暗い領域と、約 ± 11 % 以下だけ異なる、請求項 1 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 および第 2 の測定開口がそれぞれ約 1 ミリメートル以下である、請求項 2 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 4】

前記投影アセンブリが射出瞳拡大器を有し、

前記スキャナが前記射出瞳拡大器上に二次元で前記ビームを掃引することによって前記像を生成するように動作可能である、

請求項 1 のヘッドアップ表示装置。

【請求項 5】

前記視空間の前記断面の平坦な突出部が六角形の形状を有する、請求項 1 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 6】

前記視空間の前記断面の平坦な突出部が細長い六角形の形状を有する、請求項 1 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 7】

前記視空間の前記断面が平坦な断面である、請求項 1 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 8】

前記視空間の前記断面の平坦な突出部が少なくとも 100 ミリメートルの一次元を有する、請求項 1 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 9】

前記投影アセンブリが前記視空間内のビームレットを生成するようにさらに動作可能であり、

前記視空間の少なくとも一部分の測定開口上の強度プロファイルにおける差が約±2%以下であり、前記測定開口は約8ミリメートル以下である、

請求項 1 記載のヘッドアップ表示装置。

【請求項 10】

前記測定開口が約1ミリメートル以下である、請求項 9 記載のヘッドアップ表示装置。